Ⅰ 沿　　革

沿　　革

近年における技術革新や保健衛生、環境科学の進歩等に伴い、県民の生活環境に関するニーズは多様化、高度化しています。

このため、衛生研究所及び公害研究所を統合し、試験検査業務の効率化と機能強化を図り、新たに発生する行政需要に対しても適切かつ迅速に対応できるよう、当県における保健と環境に関する科学的・技術的中核機関として、平成8(1996)年4月に「保健環境センター」を設置しました。

保健環境センターは、①行政検査機能、②調査研究機能、③指導援助機能、④情報提供機能の 4 つの機能を柱として業務に取り組むとともに、県民等に開かれた研究機関とすることを目的として、県民実験室、視聴覚室及びエントランスホールなど保健衛生や環境保全について学べる場を提供しています。

平成 8(1996)年　4月	衛生研究所と公害研究所を統合し、7部制で業務開始
平成11(1999)年　5月	ISO14001取得の宣言を行い、環境プロジェクトチームを発足し、環境マネジメントシステム作りに取り組む
平成12(2000)年 10月	ISO14001審査登録（10月27日：JSAE282）
平成22(2010)年　4月	ISO14001を独自EMSへ変更
平成23(2011)年　4月	栃木県庁全庁で独自EMSの運用を開始。当センターも従前のEMSを廃止し、それに加わる
平成26(2014)年　7月	省エネルギー加速化工事により、一部照明をLED化
平成27(2015)年　1月	省エネルギー加速化工事により、冷温水発生機をガスだき高効率機種へ更新すると共に、ボイラー3台を更新し燃料をＡ重油から都市ガスへ転換
令和 2(2020)年　4月	栃木県気候変動適応センターを地球温暖化対策課と共同で設置

〇旧衛生研究所の沿革

大正12(1923)年 4月	県庁警察部に細菌検査所及び衛生試験所が設置される
昭和24(1949)年10月	厚生省通達により、2機関を統合して栃木県衛生研究所となる 庶務課、細菌検査部、化学試験部の1課2部制となる
昭和42(1967)年 5月	宇都宮市陽南に移転する
昭和50(1975)年 4月	食品部が設置され、1課3部制となる

〇旧公害研究所の沿革

昭和42(1967)年 8月	公害測定室が商工労働部振興課に設置される
昭和45(1970)年 4月	振興課廃止により立地公害課所属となる
昭和45(1970)年10月	設備等が拡張され、公害研究所となる
昭和47(1972)年 4月	部制を敷き、水質部、大気騒音部の2部制となる
昭和48(1973)年 4月	衛生環境部所属となる
昭和55(1980)年 7月	宇都宮市桜に移転する